

# 相互理解と相互 承認

## ポリシーステートメント

© World Physiotherapy 2019  
[www.world.physio](http://www.world.physio)



---

# 相互理解と相互承認

理学療法士は、ある段階で、資格を取得した国以外の場所で実践の機会を探ることが多い。WCPT（世界理学療法連盟）は、この傾向から生まれる機会を歓迎する。また、WCPTは、ある国が、他の国の理学療法士の資格を受け入れるという相互関係の重要性も理解している。こういった「お互いの認識の一致」は人事異動を促すが、確率としては低い。二つ又は二つ以上の法的機関／規制機関／承認機関が、お互いの理学療法資格が十分に一致しており、お互いの専門的実践に共通点が十分にあり、わずかな相違しか見られず、公衆を守る保証ができており同意した時にのみ成立するものである。（注1，2）

国家、国際貿易協定、国際経済は、こういった協定を考慮するよう登録機関に促す新たなインセンティブを設けている。しかし、一部の国の間で相互承認が非常に望ましいとしても、その他の国にとって不利になることもある。例えば、資格のある理学療法士が、資源の少ない人手不足の地域から引き抜かれ、資源の豊富な国に異動になる可能性や、資格のないスタッフが施術を許される環境を生んでしまう恐れがある。実践を制御するバリアが時には正当化され、必要と判断されることもあり、それによって十分に経験を積んでいない人間が施術を行うのを阻止し、特定の国の公衆を守るができることは認識しているものの、国内又は地元の専門家のみが得をする規制は、理学療法の職業のためにはならないとWCPTは考えている。WCPTは、規制条件や資格認可手続きのうちのいくつかが国際間人的移動の障壁になっている、または、障壁に見せかけている可能性があるかと懸念している。

専門資格の相互承認は、法的機関／規制機関／承認機関や各国の専門組織が整備する必要があるとあり、国際的に統制できるものではないとWCPTは考えている。規制機関が、応募者に対し、地元の法律、医療規制、専門的活動の基準やルールへの理解を求める権利を保持したいと考えていることは理解している。WCPTは、能率的で効率的で、公平かつ適切な法的／規制／承認システムは、専門資格における個人の承認および相互承認の必要条件であると考えている。WCPTは、世界保健機関の「保健医療人材の国際採用に関するWHO世界実施規範」を支持する（注3）。

WCPTは、加盟組織に対し、次のメカニズムを支持するよう促す。

- 理学療法士の国際間人事異動を推進するメカニズム
- 公益につながり、公衆安全を保障するメカニズム
- どの法域であっても、専門的基準を維持するメカニズム
- ホスト国の実践基準を満たすための手段を、理学療法士に紹介するメカニズム

---

**Glossary** (<https://world.physio/resources/glossary>)

**Reciprocity**

**Recognition**

**Regulation of the profession**

**Regulatory authority**

<b>Approval, review and related policy information</b>	
<b>Date adopted:</b>	<p>Approved at the 17th General Meeting of WCPT in June 2011.</p> <p>Replaced the Position Statement: regulation and reciprocity, approved at the 14th General Meeting of WCPT May 1999 which was revised and re-approved at the 16th General Meeting of WCPT June 2007. Standalone policy statement on regulation developed 2011.</p> <p>Re-affirmed at the 18th General Meeting of WCPT May 2015.</p> <p>Reviewed and re-approved at the 19th General Meeting of WCPT May 2019.</p>
<b>Date for review:</b>	2023
<b>Related WCPT policies:</b>	<p>WCPT policy statements:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Autonomy</li> <li>• Description of physical therapy</li> <li>• Regulation of the physical therapy profession</li> </ul> <p>WCPT guideline:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Guideline for the development of a system of legislation/regulation/recognition of physical therapists</li> </ul>

## References

1. World Confederation for Physical Therapy. WCPT guideline for the development of a system of legislation/regulation/recognition of physical therapists. London, UK: WCPT; 2011. [www.wcpt.org/guidelines/regulation-legislation](http://www.wcpt.org/guidelines/regulation-legislation) (Access date 30 August 2019)
2. World Confederation for Physical Therapy. Policy statement: Regulation of the physical therapy profession. London, UK: WCPT; 2019. [www.wcpt.org/policy/ps-regulation](http://www.wcpt.org/policy/ps-regulation) (Access date 30 August 2019)
3. World Health Organization. Global Code of Practice on the International Recruitment of Health Personnel. Geneva, Switzerland; 2010. [www.who.int/hrh/migration/code/practice/en/](http://www.who.int/hrh/migration/code/practice/en/) (Access date 29 August 2019)

© World Confederation for Physical Therapy 2019